様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　７ 年　 ９ 月 １３ 日現在

機関番号：３４５２５
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2020～2024
課題番号：２０Ｋ１１００７

研究課題名（和文）都市と過疎の高齢者の社会機能に着目した地域ケアのグローバルなアウトカム指標の開発

研究課題名（英文）The development of global evaluation items for the outcome of community-based care focusing on social function of the elderly in urban and rural

研究代表者
今磯　純子（Imaiso, Junko）

関西福祉大学・看護学部・教授

研究者番号：００３４７４２８

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本申請研究の成果は、人の暮らす地域環境の違いをふまえた社会機能に着目したアウトカム指標として、地域レベル評価指標の試案37項目が捉えられた。またCOVID-19パンデミックの中で特に地域環境の違いにより、人の健康知識や健康行動に影響のあることが捉えられた。
ポスト・コロナ社会において、地域環境を考慮し社会機能を統合して人の健康生活における地域ケアの検討には、エコシステム(Ecosystems)をふまえること、そして地域ケアに関わる横断的な多職種連携(Interdisciplinary Collaboration)の重要性について、グローバル・スタンダードの観点から捉えられた。

研究成果の学術的意義や社会的意義
ポスト・コロナ社会における今後の多様な人の健康生活に関わる社会的変化をふまえ、地域ケアのあり方を検討する上で、今後、どのような視点から捉え検討することがより求められるかについて、一つの示唆の提供に繋がったことは学術上の意義はあったのではないかと考える。また今後の人の安寧な健康生活(well-being healthy life)に繋がる研究のあり方を地域基盤の観点から検討したことは社会的意義もあったのではないかと考える。

研究成果の概要（英文）：The 37 items were extracted as social aspects at the community level that reflect the elderly residents' perception, considering the difference of the community environment through a literature review. And then, two factors: health-related knowledge and health-related behavior, were perceived as the significant disparities between urban and rural during the coronavirus disease 19(COVID-19) pandemic.
It suggests that understanding the social aspects of ecosystems in clinical settings, through interdisciplinary collaboration, is crucial for developing systematic community strategies for people's well-being life in medical, health, and welfare contexts.

研究分野：地域看護学

キーワード：地域環境　社会機能　人の健康　グローバル

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

本研究代表者の文献研究 (Imaiso, 2018)を通し、包括的な地域ケアにより、高齢者の「身体的・精神的健康の向上」「社会機能の向上」「QOL の向上」に繋がることが示された。しかし、個人の健康状態として、身体的や精神的な健康に焦点をあてた研究に比べ、社会参加などを含む社会機能をも考慮した研究は少ないことが捉えられていた(表 1)。

表1 フレイルな高齢者に対する効果的な包括的地域ケアのアウトカム結果概要

Reference \ Outcome Measures	Functional Ability		QOL	Health	
	Physical Function	Social Function		Physical Health	Meutal Health
Tourigny A, et al., 2004	S				
Melis R, et al., 2008	S		S		S
Metzelthin S, et al., 2013	NS	NS			
Bleijenberg N, et al., 2016	S		NS	NS	
Dijk H, et al., 2016	NS		NS		NS
Hoogendijk E, et al., 2016	S		NS	NS	NS
Looman W, et al., 2016	NS	NS	NS	NS	NS
Ruikes F, et al., 2016	NS		NS	NS	

Note. S=Significant, NS=Not Significant

このような本研究開始当初の背景をふまえ、地域看護学(Community Health Nursing)の立場から、地域特性を都市部(Urban)と過疎地域(Rural)と捉え、先ずは高齢者の社会機能に着目し、そこに暮らす人々の健康生活に効果的で持続可能な包括的な地域ケアを評価するための項目について、グローバル・スタンダードからの検討は重要なことの一つでないかと考えた。そのため、2020 年度より 3 年計画にて申請するに至った。しかし、2019 年頃からの新型コロナウィルス（COVID-19）パンデミックの影響にて、本計画申請内容に基づき海外渡航を含めた調査研究の実現は難しい状況が続いた。ソーシャル・ディスタンスなど COVID-19 パンデミックによる影響から、人との繋がりなど地域環境全体の状況も変化してしまった感は否めず、そのことが人の身体的や精神的、そして社会的な健康にも影響を及ぼす状況になっていることも推察された。本研究計画を申請した当初の状況と比べ地域に関わる変化は大きく、本申請計画内容に則しての調査研究までには至らず、文献を通しての研究にとどまったが、COVID-19 の影響による社会情勢の変化を考慮し、本研究での取り組み結果をふまえ、今後の地域ケアの検討に繋がるの研究に寄与できるよう、一つの成果のまとめとして報告することとした。

2. 研究の目的

（1）**要介護状態にない地域在住高齢者（元気高齢者やフレイル、要支援高齢者を意味する）の健康支援における地域ケアに関わる評価指標について、地域に暮らす人の観点から捉えられた特に社会的側面に焦点をあて先行研究を通して明らかにすることとした。**

（2）コロナ禍における人の健康について都市部と過疎地域との比較を通して、地域環境による違いについて明らかにすることとした。

（3）ポスト・コロナ社会において、そこに暮らす人を取り巻く地域環境を考慮し、社会機能に着目した内容を含め、今後の包括的な地域ケアのあり方の検討に必要なことについて明らかにすることとした。

3. 研究の方法

（1）**文献検討を行った。**PubMed, MEDLINE, CINAHL **を用い、キーワードを’社会的結束**

(social cohesion)’、‘高齢者の健康(elderly health)’、 ‘精神的健康(mental health)’、‘地域(community)’として検索した（2019 年 10 月）。本研究の対象文献 21 件から、健康　との関連で検討されていた社会的側面に関わる項目を全て抽出し、同じ意味内容のものを整理し、日本語訳および英訳へのバックトランスレーションを、翻訳専門業者である Crimson Interactive Japan (www.crimsonjapan.co.jp) へ依頼した（2020 年 12 月 24 日）。そして、各項目の英語版と日本語版の意味内容に乖離がないことを確認した。その後、さらに英語版と日本語版の個人レベルと地域レベルの各項目内容を精査し、同じ意味内容の項目を整理した。そして、本研究では、自分の暮らす地域環境をどのように捉えているか（地域レベル: Community Level）の観点から精査した。

（2）文献検討を行った。PubMed, MEDLINE, CINAHL を用い、キーワードを’地域の健康(community health)’、urban(都市)’、’rural(過疎)’、’COVID-19’として検索した（2022 年 9 月）。本研究の対象文献 3 件から、コロナ禍での都市部と過疎地域に暮らす人の健康と健康に影響を与える要因についての結果内容を整理した。

（3）文献検討を行った。PubMed, MEDLINE, CINAHL を用い、キーワードを’ホリスティックヘルス(holistic health)’、’プラネッタリヘルス(planetary health)’、’社会的決定要因(social determinants)’として検索した（2024 年 7 月）。本研究の対象文献 5 件から、地域ケアに関わる現場において社会的機能を考慮する上で重要な点として明示の結果内容を整理した。

4. 研究の成果：2020 年度～2024 年度（延長申請 2 回含む）

（1）社会的機能に着目した評価指標（案）として 77 項目が捉えられた。このうち地域レベルでは 37 項目（社会関係資本 13 項目、社会参加 2 項目、地域エンパワメント 2 項目、社会移動 6 項目、コミュニケーション 6 項目、社会環境 8 項目）が捉えられた。地域レベルの 37 項目の抽出過程について図 1 に示した。また地域レベル評価指標の試案（英語版および日本語版）37 目について表 2 に示した。

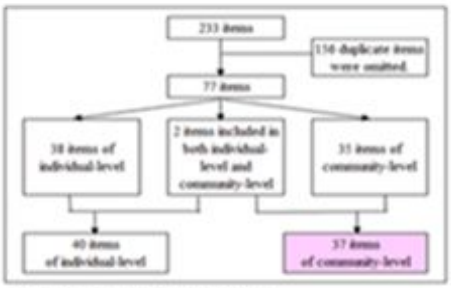

図1 21文献から社会的機能の抽出過程

表2－1 社会的機能に着目した地域レベル評価項目試案37項目

大項目	中項目	評価項目（英語版）	評価項目（日本語版）
Social Cohesion	Social Capital	People in this neighborhood can be trusted.	この地域の人々は信頼することができる。
（社会的結束）	（社会関係資本）	People around here are willing to help their neighbors.	このあたりの人々は、自分たちの隣人を喜んで助ける。
		People in this neighborhood do not share the same values.	この地域の人々は、同じ価値観を共有していない。
		People are happy with my neighborhood in the area.	この地域の人々は、この地域に暮らして幸せに思っている。
		This is a close-knit neighborhood.	この地域は結びつきが密接である。
		People in the neighborhood take advantage of others.	地域の人々は他人を利用する。
		People in the neighborhood keep their word.	地域の人々は約束を守る。
		People in the neighborhood succeed by stepping on others.	地域の人々は他人を踏み台にして成功を掴んでいる。
		People in the neighborhood are honest.	地域の人々は正直だ。
		This is a neighborhood where neighbors look out for each other.	この地域は、隣人同士が互いに気を配っている場所だ。
		In the neighborhood, the same strong ties that bring benefits to members of a group commonly enable them to bar others from accessing the benefits.	この地域には、グループのメンバーに利益をもたらす強い結びつきがあり、たいていその強い結びつきによって、他の人々が入ってくるのを防ぐことができる。
		People want to contine to live in this neighbourhood until the end of their lives.	この地域の人々は、人生の終わりまでこの地域に住み続けたいと思っている。
		People believe their neighbors would help in case of emergency.	この地域の人々は、緊急時は近所の人が助けてくれると思っている。
	Community Participation	People in the neighborhood participate activities.	地域の人々は活動に参加している。
	（社会参加）	People in this neighborhood have parties or other get-togethers where other people in the neighborhood are invited.	この地域の人々は、同じ地域の他の人々を招待するパーティやその他の集まりを開いている。
	Community Empowerment	By working together, people in my neighborhood can influence decisions that affect my neighborhood.	地域の人々の協力によって、地域の決定に影響を及ぼすことができる。
	（地域エンパワメント）	People in the neighborhood solve problems.	地域の人々は、自分の地域の問題を解決できる。

表2－2 社会的機能に着目した地域レベル評価項目試案37項目

大項目	中項目	評価項目（英語版）	評価項目（日本語版）
Social Cohesion	Social Mobilization	People encourage other to get involved with a group that's trying to make a difference in the neighborhood.	地域の人々は他の人に、自分の地域を変えようとするグループに参加するよう促している。
（社会的結束）	（社会移動）	In the neighborhood, the closure may, under certain circumstances, prevent the success of business initiatives by their members.	この地域では、閉鎖的雰囲気によって、メンバーによる事業取組の成功が妨げられる場合がある。
		The neighborhood has downward leveling norms that operate to keep members of a down-trodden group in place.	この地域には、抑圧された集団の人たちをそのまま抑圧し続けるような、下向きの平準化の基準がある。
		People in the neighborhood have adequate level of literacy.	地域の人々は、十分なレベルのリテラシーを持っている。
		It is easy for the people to access to social supports related to medical treatment or health in the neighborhood.	人々が地域の医療や健康に関連する社会的支援にアクセスするのは簡単だ。
		The health care system for the neighbors is well.	地域のヘルスケア制度は良好だ。
	Communication	People in this neighborhood generally don't get along with each other.	この地域の人々は、押しなべてお互いに仲良くしていない。
	（コミュニケーション）	People in this neighborhood visit in each other's homes or on the street.	この地域の人々はお互いの家を訪ねたり、道端で交流する。
		People in the neighborhood chat and greet.	地域の人々は話をしたり、挨拶をよくする。
		People in the neighborhood are mutually concerned.	地域の人々は互いに気にかけあっている。
		People in the neighborhood provide assistance.	地域の人々はサポートを提供してくれる。
		People in the neighborhood talk in distress.	地域の人々は追い詰められているような話しかたをする。
	Social Environment	Many people in this neighborhood are afraid to go out at night.	この地域の多くの人々は、夜間に外出することを恐れている。
	（社会環境）	There are places in this area where everyone knows, "trouble" is expected.	この地域には、「トラブル」が起こるだろうと誰もが予測する場所がある。
		You're taking a big chance if you walk in this area alone after dark.	暗くなってから一人でこの地域を歩くことは、大きな賭けだ。
		You can count on adults in this neighborhood to watch out that children are safe and don't get in trouble.	子供たちが安全でトラブルに巻き込まれないように見守ることについて、この地域の大人は信頼できる。
		People in their neighborhood would intervene if a fight broke out in front of their house.	地域の人々は、もし自分たちの家の前で喧嘩が起こったら、介入するだろう。
		The community has residential stability.	地域は安定した居住地域である。
		People in the neighborhood maintain public hygiene.	地域の人々は公衆衛生を維持している。
		In the neighborhood, one can get supplies on credit at the corner store, and children play freely in the streets under the watchful eyes of other adults.	この地域では、街角の店でつけで買うことができ、子どもたちは他の大人が見守る中、道端で自由に遊ぶことができる。

（2）COVID-19 **パンデミックにおける都市部と過疎地域に暮らす人の健康において、本研究対象文献** 3 **件中** 2 **件で、精神的健康に格差のあることが認められた。このうち** 1 **件では、都市部に暮らす人の精神的健康状態が過疎地域より有意に低いことが認められた。コロナ禍での都市部と過疎地域における人の健康に対する影響要因として、健康に関連する知識**(Knowledge)**、行動**(Behavior)**、生活習慣**(Lifestyle)**、社会的サポート**(Social Support)**、**4 **要因が挙げられた。特に、健康関連の知識**(Health-related Knowledge)**と健康関連の行動**(Health-related Behavior)**の** 2 **要因は、コロナ禍での都市部と過疎地域との間で有意な健康格差に繋がることが示唆された。**

（3）ポスト・コロナ社会において、社会機能に着目した内容が都市部や過疎地域など地域環境をふまえた地域ケアに関わる現場に活用できるために必要な点として、本研究 g 対象文献 3 件全てにおいて、エコシステムの中で健康を捉えること(Perceiving Health in Ecosystems)が認められた。また文献 3 件中、2 件では、現場で健康関連政策を考慮すること(Considering Health-related Policy in Clinical Situations)が、1 件では、プライマリケアに関わる現場で取り入れること(Addressing Health in Primary Care Settings)、が認められた。

（4）まとめ

ポスト・コロナ社会における人の安寧な健康生活(Well-being Healthy Life)支援に繋がる地域ケアの検討には、そこに暮らす人の健康知識や健康行動に影響を与える地域環境を考慮し、社会機能を統合(Integration)したエコシステム(Ecosystems)をふまえて検討することが重要な点の一つとして捉えられた。そして、多様な地域に暮らす人の健康(Health)や健康生活(Healthy Life)に関わる現場、特にプライマリケア(Primary Care)に関わる保健、医療、福祉における多職種や多機関との横断的な連携(Interdisciplinary Collaboration)のあり方の検討も重要な点の一つとして捉えられた。

＜引用文献＞

Imaiso J. (2018) Outcomes of integrated community care interventions for frail elderly people: A literature review. Health, 10, 1120-1131.

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計3件（うち査読付論文　3件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　1件）

１．著者名 Junko Imaiso	４．巻 15
２．論文標題 Exploring global demands for integrating social aspects into community healthcare: A literature review	５．発行年 2024年
３．雑誌名 Health	６．最初と最後の頁 785-793
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4236/health.2024.169055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 Junko Imaiso	４．巻 15
２．論文標題 Comparison of community health between rural and urban areas in view of the impact of the COVID-19 pandemic: Global perspective through a literature review	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Health	６．最初と最後の頁 457-464
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4236/health.2023.155030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 Junko Imaiso	４．巻 13
２．論文標題 Evaluation Items for Community-Based Health Care Focusing on Social Aspects: A Literature Review	５．発行年 2021年
３．雑誌名 Health	６．最初と最後の頁 1488-1495
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4236/health.2021.1312106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

〔学会発表〕　計2件（うち招待講演　0件／うち国際学会　2件）

１．発表者名 Junko Imaiso
２．発表標題 Community health between urban and rural considering outbreak of COVID-19 through literature review
３．学会等名 47th Biennial Convention, San Antonio, Texas, USA in Sigma Theta Tau International（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 Junko Imaiso
２．発表標題 Considering Evaluation Items Focused on Social Determinants in a Community-Based Care Through a Literature Review
３．学会等名 46th Biennial Convention, Indianapolis, U.S.A., in Sigma Theta Tau International（国際学会）
４．発表年 2021年

〔図書〕　計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

－

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考

７．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計0件

８．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関